教科目の知識、スキルは、何のために学ぶかの思索を

ある元学生から、次のようなメールをいただいた。

【 最近のニュースでいじめを原因とし自殺に至ってしまうというニュースを耳にします。 このようなニュースをみると『命』について、また、あらゆる背景について考えさせら れます。

そして、約一年前に先生の授業で考えさせられた『命』についての様々な講義が思い出 されます。

私にとって先生の授業はかけがえのないものとなっています。

今後も先生との係わりを続けていきたいです。】

厚かましく、次のように返信した。

【 最近、毎日のようにいじめに関する報道がありますね。

ただ、どうもいじめの「犯人捜し」に終始している点が自分としては気になります。 いじめ問題は「犯人を捜し当てた」だけでは、「一件落着」ではないですよね。

人はなぜ人をいじめたりするようになるのか、そこまで踏み込んで検証し、そこから学 ぶことをみんな一人一人が考えて行かないと、いじめはなくならないですよね。

そこで、私は自分なりに出来ることはないかと考え、各学校での授業も次のように懸けています。

どんな教科目名の受業であれ、唯その教科目の知識、スキルを教えればいいとものでないと思っています。

それらを学んで卒後職場で何をするかと言えば、対象の方の「命の輝き」へのお手伝いをすることですものね。

ですから、私は科目名の異なる授業でも、その科目の知識、スキル等が「命の輝き」へどう繋がるかを学生さん自身で思索して欲しく、それにはまず私自身が常に思索し続けていなくてはと思い、つい授業中でも思索することがあり、時々横道に逸れたりして、メモが録りにくい授業で、m(__)m

それだけに、あなたのように他校の学生さんたちからも、教科を通して「命の授業」、「心の授業」などと感じ取ってくださっているを知ると、とっても嬉しいです。

これからも、対象の方々の「命の輝き」へ自分が何をお手伝いできるかを思索し続けて くださいね。

それが、あなた自身の「命の輝き」に通じますからね。